

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニヨ & ニーニヤ (放課後)

公表日 令和7年2月27日

利用児童数 令和7年2月1日 33名

回収数 12名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	0	0		規定も満たしておりますので、活動に合わせながら部屋や環境の工夫を続けて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	1		職員配置の基準は満たしております。今後も安心して活動できるよう工夫して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2	0	1		手すりや階段などバリアフリーになっていますので、今後は周知に努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	0	0		今後も複合施設のいろいろな空間を利用しながらのびのびと過ごせる環境作りを検討して参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0		5領域の目標にしっかり照らし合わせながら着しく参加できるように随時検討して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		日頃から保護者様のご意向もお聞きし活動内容を工夫して幅広く柔軟に対応を重ねて参ります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		お子様一人一人の目標に向けて、個々の発達段階に合わせた方法を見つける事が出来るよう取り組んで参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		学年や学校だけでなく、個々の特性に合った具体的な計画・取り組みを今後も継続して参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		申し送りや、必要であれば面談なども柔軟に取り入れながらタイムリーな共有に努めています。職員間でもアセスメントを強化して参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0		学年や学校だけでなく、個々の特性に合った飽きない活動や遊びを展開して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	1	1		公園などで一緒にサッカーなど楽しめることが何度かあり、今年度からは近隣の児童クラブとの交流会が定期的にスタートしています。個人情報の観点から写真などでお伝えできておりません。差支えない形で啓発できるように工夫を検討して参ります。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	2	0	0		今後は更に具体的に随時説明を個別支援会議の日などに行い、わかりやすく疑問点を払拭出来るように継続して参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		個別支援会議等で相談支援も加わった支援内容の説明に努めて参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	0	0		家族会、カフェ参観など行って機会を作っていますが、更に個別の相談にも配慮して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11	1	0	0		ご利用の少ない利用者様への共通理解の場を更に検討を続けて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		各御家庭に沿った関わり感にしっかり対応できるように連携を行って参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	0	0	一部の先生から	様々な場面で傾いていけるように遊びの工夫など検討を深めて参ります。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	1	1	1		今年度は家族会や自由懇談会などで少し語り合えるような機会を作ってみました。今後も周知に努めて参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	0		随時申し込みがあればすぐに相談の場を設けますので遠慮なく声をかけて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0		相談しやすい場の工夫を更に考えて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	1		急ぎの共有事項に関しては現在「さくら連絡網」を使用しながら配信させていただいております。自己評価につきましては、後日ホームページに公開して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	2	0	2		通常は、鍵付きの棚に保管し、取り扱いにつきましては全職員、十分に注意しております。管理に関しては、今後も徹底し行って参ります。申し送りの場の工夫を考えて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	1		家族会等を通してわかりやすい伝達を検討して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	0		具体的な地域の特性に合った訓練等を活動内容や申し送り等に盛り込んでおり、今後も自然災害、不審者対策訓練など反復して実施して参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	0	1		活動の時間と自由時間の違いを明確にして安全に過ごせる支援を提供して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	0	怪我等などあまりしたことがない。	小さな異変やけがについても説明等を今後も丁寧に行って参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0	最近担当の先生が2人変わられて少し行くのをためらっている。	ご意見ありがとうございます。職員との信頼関係を構築することができる様に努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	0	中学生になり頻繁に迎えなくなったこともあり新しい先生になじめていない。	活動内容とニーズ、課題を照らし合わせて運営しています。苦手に感じることも少しずつ楽しく感じてもらえるように場や時間設定など今後も職員間で検討し療育に生かして参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	いつも幅広く抱きない活動で我が子の力が伸びているのを強く実感しています。これからもよろしくお願いします。	保護者様のご理解・ご協力のもと、お子様の大切な成長時期に少し背伸びした活動にもチャレンジを続けています。今後とも言葉や将来への見通しにつながるよう支援に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ニーニヨ&ニーニヤ（来夢）		令和7年 2月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		多機能施設の特性を生かして随時部屋を目的分けて使用しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		週単位で改善案を図り、より良い活動内容になるように広く職員から意見を出し合っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後評価の検討を行って参ります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		療育研究会や職員研修以外にも強みを生かせる研修など事業所内で継続して実施しています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ニーズや課題を保護者様と共有しやすいように内容を具体的にするように努めています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		現在、特定のアセスメントツールは使用しておりませんが、アセスメントツールの研究を行い、適したツールの使用を検討して参ります。

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所職員全員で案を出し合い、活動プログラムを組み立てています。職員それぞれの強みが活かされた活動も取り入れられていると思います。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		小学生や支援学校など特性ニーズに合った活動を段階的に準備して実施しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日までに活動内容にあった教材等を準備し学年など段階的に達成できるように設定しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		平日や土曜日など療育時間の長さを生かして複数活動で取り組み、お子様方が飽きないように目的・作業内容の確立を意識しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で「決める練習」「間違っても気にしない練習」など取り入れています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		学校情報交換会や個別支援会議など毎月定期的な連携を図っています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			現在医療的ケアが必要なお子様はおられませんが、他事業所とも連絡体制を整えられるように努めて参ります。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		南部地区連絡会に参加し、意見交換や助言をいただく場になっています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		今年度は清和第一児童クラブさんなどと交流会を2回実施出来ました。ご協力ありがとうございました。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		わかりやすさ・丁寧さを実感して頂けるように努めて参ります。不明点がありましたら、職員までお問い合わせください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族会やカフェ参観など保護者様に参加いただく機会を増やしていけるよう図っていきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人として会報（ポコアポコ）を作成し、発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ゆっくりわかりやすくお伝えし、メモを生かすなど工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		季節ごとに地域の方にお越しいただいて、音楽会など通してふれあい・地域を知る機会を作っています。	地域を巻き込んだ活動から子どもたちと社会の繋がりができるような活動はどのようなものがあるか、更に事業所内でも検討してまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			一部、施設内に掲示はありますが、今後、ご家族の皆様にとって更に見やすい形を検討して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		館内・事業所とそれぞれの訓練を行いAEDの使い方などにも興味を持たせられるように工夫をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		毎年の誕生日や変更にも随時状況をお聞きしています。	

49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族会などで計画に基づいたお話をしています。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員個々の技量に合わせてながら虐待防止への研修参加・共有を続けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ニーニョ & ニーニャ (放課後)			
○保護者評価実施期間	令和7年1月7日		～	令和7年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26世帯	(回答者数)	12世帯
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～	令和7年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月々の療育の中で、飽きない事業所・環境・教材作りに努めています。	手話歌・シャトルラン・リレーやかけっこなど2つ、3つ、4つと個々のニーズに合った活動を段階的に準備したり、心の学び(ワークシート・話し合い)を通して気持ちの立て直し・切り替え等5領域を幅広く網羅した活動を提供しています。	参加が難しいお子様には課題の取り組みとして、階段歩き・絵カード・S字フック・二者選択等を行い、更なる取り組みの幅を広げられるようにして参ります。
2	進学・就職に向けて将来をしっかりと見据えた経験値向上、コミュニケーション力強化等に努めています。	お仕事ゲーム(ネットスーパー・カフェ練習・美化作業等)や発音しやすい・しにくい言葉のアセスメント等言葉遊びを工夫しています。また、感動を呼ぶ斉唱や手話歌・ミニピアノ経験、季節のクッキングも個々の段階に合った取り組みを継続しています。	テーブルマナーなど、少し背伸びした活動で成長や課題を保護者様に感じてもらっており、今後も将来に繋がる経験値向上を目指して参ります。
3	地域や学校との連携強化やご家庭支援を丁寧に行っております。	地域の方々とイベントを楽しんだり、身近な児童クラブと季節のお楽しみ会など共有し地域に根差した行事・活動から社会性・協調性を養う機会を設けています。	地域社会や学校、ご家庭での困り感などにも段階的にステップアップできるよう地域の中での生活体験や自己完結出来る練習等更に幅広くチャレンジして参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	虐待防止やバリアフリーなどの研修報告の強化	研修報告の機会が家族会などに限られてしまっているので方法など検討中です。	定期的な会報など身近な方法を即実行できるように実践して参ります。
2	畑作業など屋外での自立活動・共存する力を習得する場の強化	屋外での修得環境が限定的になっており、屋外での遊びの工夫を検討中です。	法人内の屋外・全天候型設備の利用検討を行って参ります。
3	地域との連携等の啓発強化	広く実践・お知らせを啓発できる機会が少なく模索しているところです。	SNSを活用した事業所からのお知らせや報告機会を増やせるように準備を進めております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニヨ&ニーニヤ

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数 20名

回収数 9名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8		1		・確保されている ・こどもに聴くと狭くないよと言っていました。	基準を満たしたスペースとなっております。活動に内容に応じて、近隣の公園へ行く事もあります。
	2	職員の数配置数は適切であると思いますか。	9					配置基準は満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1				・バリアフリー基準を満たした設備となっております。写真やイラストなども使用し、構造化された環境作りに努めております。今後も、お子様に分かり易い環境作りに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					・午前、午後と毎日2回、清掃と消毒を行っております。活動に合わせたスペースの使用を行っており、今後も活動に合わせた空間作りに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					毎月の研修と、PT/OT/STから専門の助言をいただきながら、お子様の特性に合わせた支援に努めております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					支援プログラムを元に、活動内容を作成しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					日々のお子様の様子や、保護者様からのご家庭での様子を踏まえ、支援計画を事業所内と保護者様と共に作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様にあった目標・支援内容を設定し計画を作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					お子様の情緒面に配慮しながら、目標に沿って支援を行っております。お子様が出来るようになった事を事業所内で共有し、お子様の成長を支えていけるよう、今後も丁寧な支援に努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					5領域の内容に基づき、様々な活動を計画しております。今後も、お子様が活動参加を楽しみながら成長していく事を支えていけるよう、努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1		2		併用先との交流活動の実施には至りませんでしたが、他事業所の幼稚園・保育園に通うお子様との交流は行っております。今後は、併用先との交流活動などの実施を検討してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1				・契約時に説明を行っていたですが、今後も必要に応じて、丁寧な説明を行ってまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					・半年に1度行っております。面談時に支援内容に基づく説明を行っていたしております。保護者様のニーズ、お子様の成長に沿った支援内容となるよう、今後も支援計画作成と支援を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1				・現在、ペアレントトレーニングの実施には至りませんでしたが、今後も保護者様のご相談については必要に応じて面談を行い、関係機関との連携やご家庭との連携を図ってまいります。

保護者への説明等

非常時等の対応

15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9					連絡帳や申し送り時、親子療育の際、必要に応じて電話等にて情報共有をさせていただいております。今後も、保護者様との共通理解をさせていただきながら、支援に努めてまいります。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					半年毎のモニタリング時以外にも、必要に応じて保護者様と面談を実施し、助言をさせていただいております。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					保護者様の思いを事業所職員で共有し、保護者様のお気持ちに沿って支援させていただいております。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	8	1				親子療育の中で、茶話会を実施させていただき、保護者様同士の交流の場を設けております。法人内の施設にて、イベントを実施し、ご兄弟様もご参加いただき、交流の場を設けさせていただきました。今後も様々な活動内容を企画し、ご兄弟様向けのイベント等実施ができるよう努めてまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					今後も、保護者様からの相談やお申入れについて、必要であれば関係機関と連携を図らせていただき、迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					連絡帳や申し送り時に情報共有をさせていただきながら、お子様の意思や保護者様の思いをもとに支援をさせていただきました。今後も、相談のしやすい環境になるよう努めてまいります。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9					活動等や行事予定等につきまして、毎月配布させていただいております。自己評価の結果につきまして、ホームページにて公表しております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					個人情報に関しては費庫にて厳正して保管しております。今後とも取り扱いには十分に注意してまいります。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9					炊き出し訓練など、お子様にも実施した内容を見学していただきました。保護者様への説明や周知につきましても徹底してまいります。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9					毎月、地震・火災等の次男訓練を実施しております。その際の避難経路については、様々な避難場所の確認を行っております。
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					事故・怪我等が発生した際は、保護者様へ連絡させていただき状況説明をさせていただいております。今後も、安心して通園いただけるよう、努めてまいります。
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					登園時のお子様の表情は明るく、落ち着いて過ごしております。その日のお子様の情緒面や体調面に配慮しながら、支援させていただいております。今後も安心して過ごせる場となるよう努めてまいります。
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9				活動内容や曜日により行き渋りがありますが、行けば何々したよーと家でも話すぐらい楽しんでいる様子です。	お子様の成長に沿った支援を行うと共に、お子様が楽しみながら活動参加していただけるよう努めてまいります。

満 足 度								今後も、保護者様のご意向、お子様の意思を十分に受け止め、支援目標に沿った支援に努めてまいります。
29	事業所の支援に満足していますか。						9	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ニーニョ&ニーニャ		公表日		令和7年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		太陽スポーツなど、運動遊びにおいては、部屋を解放し十分に身体を動かす事ができるスペースを設けております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		親子療育や定期的な面談等で得た情報を、都度、話し合い職員間で共有した内容を支援に繋げております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			可能な時間に打ち合わせを行い、お子様の支援の振り返りを行い、気付いた点などの共有を行っております。今後も、そのような時間を増やしていけるよう努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		保育所やこども園、幼稚園との交流はないですが、幼稚園ほや保育園に通園されているお子様との関わりは日々あります。今後、可能な形で機会を設けられるよう検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ等を通して、活動や行事の発信を行う中で、お子様の様子や事業所の様子を見ていただいております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	二一ニヨ&二一ニヤ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 23日 ~ 令和 7年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	9
○従業員評価実施期間	令和7年 2月 7日 ~ 令和7年 2月 18日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業所向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活体験を通した発達支援の提供	・クッキング活動毎月実施 ・動物とのふれあいやお買い物体験、おまつりイベント等 社会性や人間関係の成長を支える活動内容を通して、利用児様の経験が豊になる内容を工夫し取り組んでいます。	・季節を感じられる活動とら領域に即しお子様の成長を支える活動内容実施に取り組みます。 ・現在は利用児様のみの活動が主である為、利用児様以外にもご兄弟児様や地域の方も参加できる内容を構築していきます。
2	他事業所や地域の方との交流を通して、人と関わる楽しさの経験を積み社会性を養う	・放課後等デイサービス、就労やグループホームの方と、行事を通して交流を行っております。 ・運動会では、法人内の事業所が集まり、普段関わりのないお子様同士の触れ合う機会を設けております。 ・イベント実施の際は、利用児様以外にも参加できるよう、近隣へ広報を行っております。	・今後の行事の広報等充実し、地域の方との交流を深めていきます。 ・ご家族様や兄弟児様にもご参加いただける内容で取り組み、お子様のよりよい経験に繋げてまいります。
3	専門職との連携が図れる。	・言語聴覚士、作業療法士、理学療法士との連携や行動分析の視点でのアドバイス等をもとに日々の支援に活かす事ができております。	・年間計画をもとに専門職の巡回の実施。保護者様にも毎月の行事予定表にて提示し、保護者様から相談しやすい環境作りを構築。専門職からのアドバイスを保護者様や併用先と共有する事で、ご家庭や併用先と連携した支援を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の場や兄弟向けのイベント	・保護者様同士の交流の場や、兄弟向けのイベントを実施はできたが、参加していただく方がより、増えるよう保護者様への周知や参加についての広報の工夫が必要と考える。	・定期的な行事やイベント実施を継続して行う事で、保護者様の認知度を高めてまいります。 ・ご家族様やご兄弟児様が参加しなくなるような内容を構築し、ご家族様やご兄弟児様の交流や支援の場となるよう努めてまいります。
2	専門職との連携において、日程調整を行い実施。	・保護者様のニーズに合わせ、専門職とのスケジュール調整後、お子様の様子を見ていただいている。	・次年度より、専門職の定期的な巡回実施。巡回日程を行事計画に載せる事で、保護者様のニーズに可能な限り迅速に対応してまいります。 ・また、事業所職員の研修参加や資格取得し、専門性を高めてまいります。
3			